

5月号

永井循環器内科 生活習慣病・心臓クリニック



院長の、ちょっとなが——いつぶやき

さあ、五月です。旧暦で皐月(さつき)。
気温が暖かくなり田植えの始まる時です、幼い稲の苗を早苗(さなえ)と言いますがこの早苗月を略して皐月となったそうです。皐という字は
く神にささげる稲>という意味があるそうです。
その他5月は菖蒲月(アヤメつき、しょうぶつき) 橘月(たちばなつき)ともいい
ます。<五月雨を集めて早し最上川: 松尾芭蕉> はあまりに有名な句ですね!
そして<令和: 元年>です。

もう有名ですが、万葉集(奈良時代に作られた日本に現存する最古の和歌集)のなかで梅の花の歌<初春の令月(れいげつ)にして、気淑(よ)く風和(やはら)ぎ>からとられています。私は素敵で元号だと思えます。ところでこの作者、大伴旅人(おとものたびと)は大のお酒好きでくなくなかになにとあらずば酒壺に成りにてしかも酒に染(し)みなむ> 中途半端に人間にいるよりは酒壺になって酒に染みていたいものだなあ。という楽しい歌を詠んでいます。私事ながら、わが父切石文士が生きてたらさらにもっとおもしろいお話が聞けたかなあと、しみりしてしまいました。万葉集の研究もしていましたもので。あ、それから、同じ五月でも五月の蠅は、いただけません。五月蠅い(うるさい)と読みますから!

院長プロフィール

- 元大分大学医学部臨床教授
- 日本循環器学会専門医
- 日本東洋医学会漢方専門医
- 日本プライマリ・ケア連合学会認定医、指導医
- 薬剤師



職員だより

ずっと忙しくて来られなかった患者さんが、やっと受診にみえたときはホッとします。少しでも早く受診から会計までが円滑にいくよう待ち時間を減らす努力もしております。顔なじみになった患者さんも、新しく来院された患者さんも、皆さんが笑顔で帰宅できるように日々がんばっております。どうかよろしくお願いたします!!



栄養指導室だより

生活習慣病(高血圧、糖尿病、脂質異常症、肥満症など)の食事指導を丁寧に行っております。実際の食事内容に偏りがなく、簡単なアンケートで調べさせていただくこともあります。単身赴任のかたや大家族のかたなど家族背景も考慮しながらの食事指導をしております。食事内容に注意しながら楽しい食事をしてください。

別府大学短期大学部
食物栄養科より
講師の先生をお招きして
月2回来食指導を実施
しております。
優しい先生です!



診療内容

一般内科・循環器内科・漢方外来・禁煙外来・ペースメーカー外来・高血圧・糖尿病
コレステロール値の異常・動脈硬化の検査・動悸・不整脈・胸痛・むくみ・予防接種

◆健康診断(特定健診、雇用時健診、企業健診、一般健康診断、心臓健診 オプション 骨粗鬆症検査 など)

TEL 097-504-7855

診察時間	月	火	水	木	金	土	日
午前(9:00~12:30)	○	○	○	○	○	○	×
午後(14:00~18:00)	○	○	○	×	○	×	×

<http://www.nagaic.jp> 大分市羽田217番地



その動悸は…うーん、よくないです。 受診しましょう。

ちょっと聞きなれない心房細動という不整脈のお話

不整脈には様々な種類があります。たいていは、放っておいても大丈夫なのですが、なかには致命的となり、発見されたら治療が必要なものがあります。そのひとつが心房細動です。発見されるきっかけは健診だったり、動悸で受診したり、何かのごろだるい、きついなどで受診したり様々です。だるい、きついというときは自覚症状のない心房細動が起こり、心不全を発症していることもあります。



心房細動によくみられる症状

どきどきする、胸が苦しい、息切れしやすい、めまい、ふらつきがある、階段や坂道をのぼるのにきついなどがあります。

まったく無症状のこともあります。何も気づかないうちに心房細動を起こしているのです。

80歳以上では10人に1人は心房細動といわれています。一番の原因は加齢によるものです。年取ると正常な心臓の細胞が別のものに置き換えられてしまうんですね。これに大量の毎日のアルコールとかストレス、喫煙がくわわるとさらに困ったこととなります。

どんな脈??

風の又三郎にくどつどど どどうど どどうどどどう 青いクルマも吹き飛ばせ すっぱいかりんも吹き飛ばせ>ってありますよね。そう、脈がでたらめにうつのです。

脈がバラバラ、そして皆さんの症状もひとそれぞれにバラバラです。ちなみに、なんとクジラはみんな心房細動だそうです。それも1分間に15回くらいの脈拍……。

話はそれますが、ちっこい動物ほど脈がはやい、マウスは700回/分程度だそうです。

でもクジラの脳梗塞は、聞かないなあ????

見つからないまま 過ごすとう なるのでしょうか??

心臓がうまく血液を送り出せなくなり、心臓のなかに血の塊ができやすくなります。

この血の塊が血管の中を移動してある日突然大きな脳梗塞を起こすのです。何の前触れもなく**致命的な意識障害、脳梗塞**が起こり**命が危ぶまれることになる**のです。

それでは、どんな方法が??

先にのべたような症状があれば是非医療機関を、特に循環器内科を受診してください。また**いびきをかく、日中の眠気**など、睡眠時無呼吸のありそうなたも受診をお勧めします。心房細動と睡眠時無呼吸候群の関係の報告があります。きちんと診断、しっかり治療です。

現在はカテーテルアブレーションという治療で心房細動を起こらなくすることもできます。ちなみに、大分大学医学部附属病院循環器内科はカテーテルアブレーションのエキスパートの先生が揃っておられます。熟練したお弟子さんも他病院で治療なさっています。心房細動については、**安静時心電図、心臓超音波検査、胸部レントゲン検査、24時間心電図検査などで診断していきます**。普段、放っておいた不整脈に心房細動がまざっていることがあります。そのような場合、24時間心電図検査で発見されることがあります。

血液さらさらの薬も適宜必要になりますが、今は副作用の出血の合併症がおこりにくい新しいお薬が開発されています。



元気に長生き、健康長寿の延伸をめざしましょう!!

心房細動は、きちんと発見されればこわくありません。

くむやみに恐れるなかれ、心房細動!しっかりと対策を>でございます。

